

# 平成29年度「中学生の税についての作文」 入選者のご紹介

問い合わせ 税務課 市民税係  
☎72-2101(内線172)



茅野市と諏訪税務署・長野県南信県税事務所・長野県租税教育推進協議会・関東信越税理士会長長野県支部・諏訪納税貯蓄組合連合会の6団体では、毎年共同で市内の中学校から税についての作文を募集しています。将来を担う中学生の皆さんが、税に関することをテーマとして作文を書くことを通じて、税について関心を持っていただき、また、税について正しい理解を深めていただくことを目的としているものです。

本年、作文の応募は市内4校、総数502点でした。優秀な作品を寄せられた13名の中学生の皆さんをご紹介します。

## 長野県納税貯蓄組合連合会長賞



東部中学校 3年4組  
玉井 真歩さん  
たまい まほ

### 「私たちの「あたり前」と税」

今、私がこの中学校に通っていてこの勉強机があつて椅子に座つていて教科書を読んで学んでいる。この状況が今のあたり前になっている。でもこれは私たちが住む日本での場合だ。同じような状況がどの国の、どの地域の子たちにも与えられているかと聞かれたらきつとそうではない子たちも多くいるのであろう。教材がない子たち、勉強机や椅子がない子たち、教室そのものがない子たち、学校にすら通えない子たち。そういう子たちの事も考えたならば、今の私たちの「あたり前」はとても恵まれていて裕福であると言えるだろう。それは、国民みんなが平等に教育が受けられるようにと、多くの国民の人が「税金」をはらつてくれているからだ。その税金から教材や机、椅子が買われ、校舎の建設までもが行われているそう。そして私たち一人一人にかけられている教育費は一日5055円。1か月だと8万4300円。年間にすると、101万1000円にもなるそう。多くの国民の人が教育費として税金をはらつてくれ

ていることを考えてみると、私と面識が無い人が私のためにお金をはらつてくれている。あなたと面識がない人があなたのためにお金をはらつてくれている。私はその事が頭に浮かんだ。なぜだろう。それは将来の私たちに期待して、日本の未来に期待してくれているからではないかと私は考えた。少子高齢社会が進む今の日本だが、未来の日本の担い手は間違いなく私たちの番だろう。しっかりと勉強して必要なことを身につけて未来のために貢献することが今の私たちのやるべき仕事ではないだろうか。教育費として税金を払っていただいて、今、不自由なく「あたり前」が作られていることに感謝することが大切ではないだろうか。だから、税金を払っていただいている多くの人に言いたい。絶対に日本の未来は私たちが明るくすると約束します！と。

おこづかいが少ない。とよく耳にする。でもそのおこづかいで学校に行けない子供が学校に行けるかもしれない。教材が買えるかもしれない。最初の話に戻るが、日本は恵まれていてとても裕福な国だ。税金の制度が安定してどの国民も平等に教育が受けられて、勉強ができる環境にいる。私もその一人だ。まず今この机で勉強ができていて筆記用具を持つてこの作文を書いていることに感謝したい。そして今学んでいることをこれからの明るい日本の未来に期待して社会に貢献できるような人間になりたい。いや、なる！。

諏訪地区税務協議会長賞



「私たちがすべきこと」  
北部中学校 3年2部  
小平こたいら 咲良さくらさん

関東信越税理士会  
長野県支部連合会長賞



「未来の日本と税金」  
東部中学校 3年5組  
小林こはやし 由依ゆいさん

諏訪納税貯蓄組合連合会長賞



「税金の大切さ」  
永明中学校 3年2部  
折井おりい 萌々香ももかさん



「税金の大切さ」  
長峰中学校 3年1組  
矢島やじま 琉聖りゅうせいさん

茅野市長賞



「経験から興味へ」  
永明中学校 3年1部  
矢島やじま 広大こうだいさん



「税と私たちの生活」  
永明中学校 3年3部  
矢崎やさき 智大ともひろさん



「不安・不満」  
北部中学校 3年2部  
蔵くら 琉斗りゅうとさん



「税金のお話を聞いて  
思ったこと」  
北部中学校 3年3部  
松田まつだ 航翔かずとさん



「ぼく達の生活と税金」  
長峰中学校 3年2組  
小林こはやし 位光たかみつさん



「税の必要性」  
長峰中学校 3年2組  
小池こいけ 真まなさん



「豊かな生活をおくる  
ための税金」  
東部中学校 3年1組  
平田ひらた ゆりさん



「暮らしの中の税金」  
東部中学校 3年2組  
原田はらだ 朱梨あかりさん